

ヒーローショーを上演

子どもに食の大切さを伝える

美作大学

美作大学（岡山県津山市）の生活科学部児童学科4年次の有志学生3人が幼稚園等でヒーローショーを上演した。

上演は2月に3回、地域の幼稚園、保育所で行われた。

劇はJAつやま（同）のオリジナルキャラクターで、「管内の食と農を守る正義のヒーロー!!」の「JA戦士シャイン」になりきり、子どもに食の大切さを伝えた。衣装も同団体から借り、本格的な劇となった。

子どもは夢中になって劇を鑑賞しており、舞台上に熱視線を送っていた。悪役のガザガインが登場したシーンでは泣き出してしまふ子どもがい



子どもたちに食の大切さを訴えるヒーローショーを上演

た。しかし、シャインが戦う迫力のあるシーンでは、子どもたちが一丸となってシャインを応援し、会場は割れんばかりの声援に包まれていた。

最後のシーンでシャインは「早寝、早起き、朝ご飯が大事」というメッセージを送り、子どもたちに多くの笑顔を残してヒーローショーは幕を閉じた。

出演した末延大河さん（高知県立岡豊高等学校出身）は「ヒーローであるシャインを演じることで、経験したことのないくらいに歓声を浴びたり、子どもたちに夢を与えたりと、貴重な体験となりました。また、こうした形での教育方法もあるのだと勉強にもなりました。改めて自分でも『早寝・早起き・朝ごはん』の生活習慣を見直したいと思っています」と、子どもたちの笑顔に喜びを感じていた。

悪役のガザガインを演じた藤井笑希さん（広島県立神辺旭高等学校出身）は「劇中で『規則正しい生活をしない子どもたちは、悪の仲間入りだ』というセリフを口にした時は、多くの子どもたちが泣き出しました。このヒーローショーをきっかけに生活習慣

を整えることの大切さが伝わり、子どもたちが日頃の生活を見直してくれたら嬉しく思います」と、手ごたえを感じている様子だった。

悪役の戦闘員を演じた清水貴大さん（岡山県立津山高등학교出身）は「初めての経験でしたが、子どもたちに喜んでもらえて良かったと思っています。劇の内容も子どもたちにとって良い影響を与えるものだったため、家庭に持ち帰って劇中で伝えたことを活かして欲しいと思います」と、ヒーローショーを振り返っていた。

同学科では学内での講義のほかにも、多岐にわたるポラティオ活動や地域のスポーツ教室、小学校などで子どもたちとふれ合い、間近で接する機会を用意している。同学科での学修が確かな力を持った保育・教育者への近道となっている。